



「CS」は、コミュニティ・スクールの略称です。

# 若基小CSだより

第3号 令和3年10月12日  
文責 久保山 紀陽子

## 「第3回学校運営協議会」を開催しました

10月8日（金）に3回目の「学校運営協議会」を開催しました。今回は、各クラス5分程度ですが、授業を参観していただいた後、学習支援について話し合いを行いました。



【授業参観の様子】

### ■ 校長先生より



《体育大会を終えて》

コロナ禍の中で体育大会ができるか心配だったが、無事に行うことができほっとしています。子供たちの一生懸命に取り組む姿や行事を通して成長した姿を保護者の皆様に見ていただくことができ良かったです。特に、6年生は、団結して取り組んだ表現運動や前日、当日の役割を立派にやり遂げたことで自信をもつことができたと思います。行事には子供を成長させる大きな力があるという話がありました。

《6年生の全国学力・学習状況調査の結果を受けて》

正答率をみると、国語・算数ともに、県・全国平均と同程度の正答率であり、しっかりと学習を理解していることが分かります。また、生活習慣に関する調査結果では、「友達と協力するのは楽しい」、「いじめはどんな理由があってもしてはいけない」の項目に良い傾向がみられ、若基小学校の子供は、友達と共に活動しやり遂げることに楽しさややりがいを感じていることが分かり嬉しいという話がありました。学力・体力が身に付き、心も育っている子供たちが、さらに心身ともに成長できるように、学校一丸となって頑張っていきたいと思います。

### ■ 学習支援の内容について

地域の方の力をお借りすることで、子供の学びがより充実したものになるのではないかと、また、子供が学習を通して達成感を感じ、さらに自信を持つことができるようになるのではないかと考え、地域の方による学習支援を計画しているところです。地域の方による学習支援とは、地域の方の専門的な知識や技術などを子供たちに伝えてもらったり、子供たちの学習活動を見守り、安全面を配慮して



【話し合いの様子】

もらったりする活動のです。

そこで、どの授業に支援があるとありがたいかという問いに担任が答えたアンケートを基に、どのような支援ができそうかを話し合い、今年度は以下の内容に取り組んでみることにしました。

時期	学年	教科等と単元名	支援の仕方
10月中旬～	5年	家庭科 「ミシンでソーイング」	ミシン縫いの補助をしていただく。 10月中旬に4回程度来ていただき、ミシン縫いの仕方 や上糸のかけ方など、子供たちが困っているときに 教えてもらう。
11月初旬	6年	家庭科 「献立を工夫して～チャレンジコーナー～」	地域の料理や地域の雑煮、基山町でとれる食材を使っ た料理などを教えていただく。 2名ほど来ていただき、話をしてもらう。
12月	1年	生活科 「むかしからつたわるあそびをたのしもう」	お手玉、かるた、けん玉、竹馬、こま等を一緒に遊び ながら教えていただく。 遊びの種類の数だけ教えていただく方がいると子供 たちは活動しやすい。
1月下旬	6年	図工科 「彫刻」	安全に彫刻刀が使えているか見守ってほしい。また、 使い方が間違っていた場合は、正しい使い方を教えて いただく。
未定	3年	総合的な学習の 時間 「大好き！基山」	校外学習の安全面の見守りをしていただく。

今年度は、まずは、どのようなときに学習支援をしてもらいたいのか地域の方に知っていただくことが大切ではないかと考えています。そして、今年度、いくつか実践することで、そこから学習支援の輪が広がっていけば嬉しいと思っています。ご協力よろしく願いいたします。

## ■ 子供たちの様子について（意見交換）

「あいさつを自分からしてくれる子供が増えたり、卒業の時に6年生が手紙をプレゼントしてくれたり、温かい心をもった若基小学校の子供は素敵です。」という嬉しい言葉をいただきました。これからも、人の心をぽかぽかした気持ちにさせる、また、周りの人を笑顔にする子供たちを育てていきたいと思えます。





















